

様式第2号(第10条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

1 開催した会議の名称

令和4年度第2回佐伯市環境審議会

2 開催日時

令和5年2月14日(火) 10時00分から11時06分まで

3 開催場所

所在地 佐伯市中村南町1番1号

会場名 佐伯市役所 本庁舎6階 大会議室

4 出席者

委 員：平野憲司、岩佐礼子、糸長伸能、伊藤龍星、亀山英弘、玉野晃、石橋賢一、
鳴海美代、小野美智子、山本眞壽美、大西恵一、河村雄太、山口清一郎、
河野憂美、川野典子、大鶴政江、

市職員：首藤市民生活部長、
三浦環境対策課長、野村総括主幹、泉主幹、廣瀬主事

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0名

7 議題及び結果

議題：第2次佐伯市環境基本計画【改定】(素案)について

結果：事務局から第2次佐伯市環境基本計画【改定】素案について説明し、審議を行った。

8 審議の内容

佐伯市環境審議会会長へ第2次佐伯市環境基本計画の改定に伴う諮問を行い、事務局から第2次佐伯市環境基本計画【改定】素案について説明し、審議を行った。

委員から出た意見は、以下のとおり。

(1) 専門用語には「*印」を付けているが、資料編の頁番号を*の後に入れた方が見やすいのではないか。

例) 資料編の3頁に「SDGs」の説明を記載の場合 「SDGs*(3)」

- (2) 有害鳥獣対策の推進に当たり、進捗指標に「シカの生息頭数」はあるが、「イノシシ」の数値は入れない理由があるのか。
- (3) 環境に配慮した交通体系の整備について、「道路の拡幅」と表記されているが、渋滞緩和のための措置は「道路の拡幅」だけでなく、「バイパス」等もあり、道路管理者は、「渋滞の原因」「周辺環境」等を踏まえた上で、適正な手法で行うので、この表現は違和感がある。
- (4) 学校における環境教育・環境学習の推進について、「4 R」の文言が入った方が良いのではないかな。
- (5) 脱炭素型の地域づくりについて、「第4期佐伯市地球温暖化対策実行計画」の記載があるが、佐伯市総合計画も後期基本計画から「地産地消エネルギーの調査」の内容が入っている。ここにも「エネルギーの地産地消」に関連する記載を入れてほしい。
- (6) さくら猫に関する記載がないのはなぜか。
- (7) 「夏緑樹林」について、昔は「落葉広葉樹林」という言い方をしていたと記憶しているが、現在はこれに統一されたのか確認してください。
- (8) 計画名の変更について、「オーガニック」の説明について疑問がある。一般的に「オーガニック」とは「有機農業」のことを言うと思うので、計画の内容と結びつかない。また、文中には「オーガニック」の表記がほとんどない。この計画名に変更された背景の説明を記載しておかないと、言葉だけが独り歩きすると思う。どこかに表記するか、資料編で文言の説明をするか検討した方がよい。

9 会議の資料名一覧

- ・第2次佐伯市環境基本計画【改定】(素案)
- ・第2次佐伯市環境基本計画【改定】素案について～主な見直し箇所～

10 問い合わせ先

担当課 市民生活部 環境対策課 環境企画係
電話番号 0972-22-3995 内線 399